

平成30年7月
豪雨関連

平成31年4月9日
四国地方整備局
四国山地砂防事務所

平成30年7月豪雨により徳島県三好市で発生した土砂災害について緊急的な地すべり対策工事に着手します。

四国山地砂防事務所は、平成30年7月豪雨により大規模な地すべりブロックの移動が確認された徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、緊急的な対策として地下水排除工（ディープウェル工）の施工に着手します。

※ディープウェル工とは、深井戸を設置しその深井戸内に流入する地下水を水中ポンプで排水することにより地すべりの移動を抑制させる工法です。

地下水排除工（ディープウェル工）の施工状況を広く知っていただくため、報道機関の方を対象に現地状況を公開します。取材希望がありましたら現地までご案内しますので、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所

副所長（技術） 白石 隆 （内線 204）

○工務課長 有田 由高 （内線 311）

建設監督官 藤本 章次 （内線 6541） 祖谷地区

電話0883-72-5400（代表）

平成30年7月豪雨を受けて直轄地すべり対策災害関連緊急事業を実施します。

徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、河道閉塞の発生が想定される大規模な地すべりブロックの移動が確認されたことから、変状の進行を抑制するため、緊急的な地すべり対策工事を実施します。

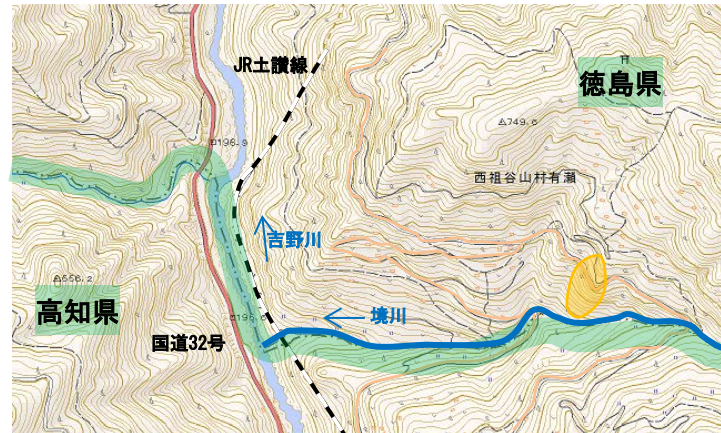


【吉野川水系境川】

- 徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区
 ○平成30年7月豪雨による被害状況
 河道閉塞発生のおそれ、市道の変状等
 ○主な対策
 地下水排除工(ディープウェル)

被災箇所

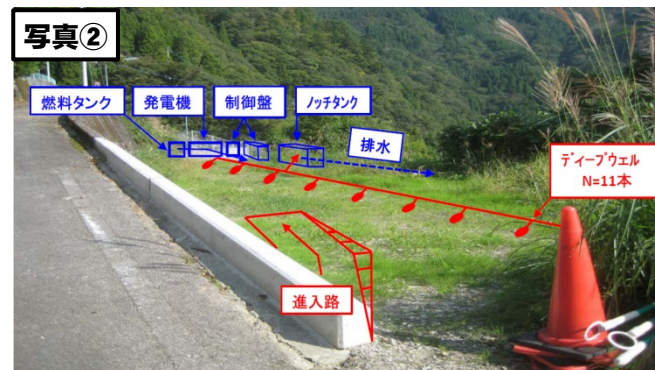
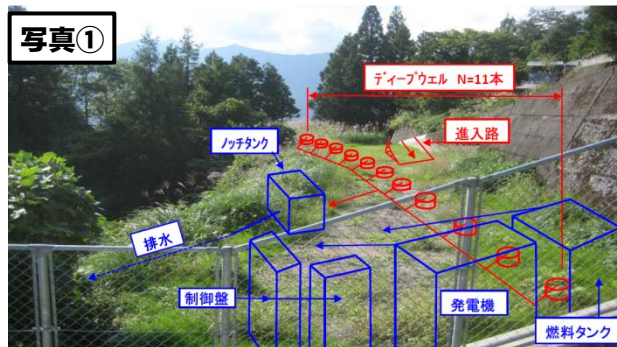
地下水排除工
(ディープウェル工)



地下水排除工(ディープウェル工)の施工に着手

平成30年7月豪雨により大規模な地すべりが発生した徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、地すべりブロックの移動の進行を抑制するため、地下水排除工(ディープウェル工)の工事に着手します。

地下水排除工
(ディープウェル工)



ディープウェル工とは

- ・地すべりの要因の一つである地下水を排除する工法です。
- ・地中深くに井戸を設置し、その井戸に流入した地下水を水中ポンプでくみ上げます。
- ・豪雨時には急激に地すべりブロックの地下水位が上昇し、地すべりが移動することから、豪雨時の急激な地下水位の上昇対策として、ディープウェル工を降雨時に稼働させ強制的に排水し、地下水位を低減することにより、地すべり変動を抑制するものです。

※地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

施工イメージ

